

フューチャー・デザインワークショップについて

1 要旨

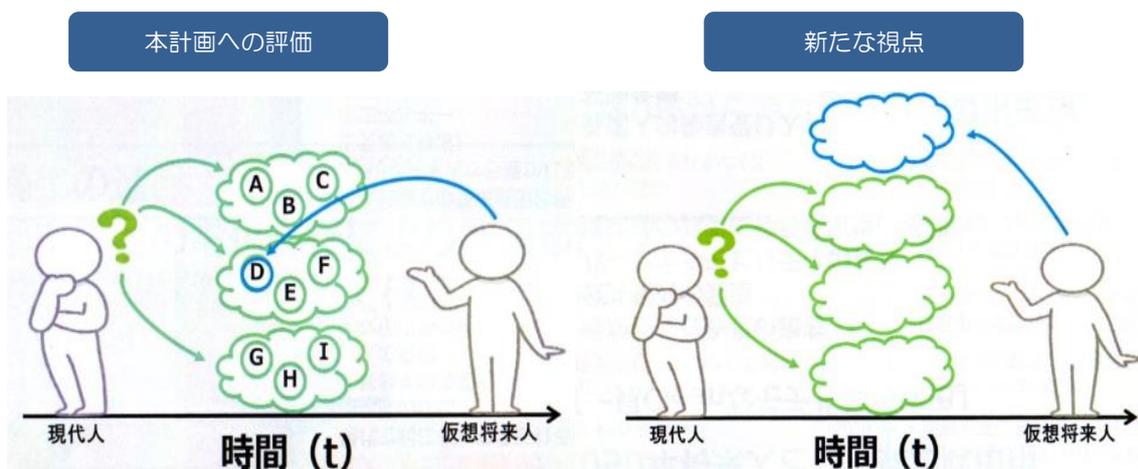
「フューチャー・デザイン」とは、世代を超える未来に関わる課題に対処し、持続可能な自然と社会を将来世代に引き継いでいくために、将来世代の視点を取り入れて、社会の有り様をデザインする手法です。

将来設計は現世代目線で決められがちです。そうであれば、現世代の利益を優先しがちになります。そこで、将来人になりきった「仮想将来世代」が将来人に代わって、意見をいうというものです。

本市と「大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター（以下、「COiRE」という）」は、平成25年（2013年）1月28日に締結した連携研究等に係る「確認書」※に基づき、これまで研究会やワークショップ等を協働で実施してきました。

本ワークショップでは、本市とCOiREが共同研究を行う「フューチャー・デザイン」の実践として、「仮想将来世代」になりきった市民（一部行政職員含む）が、吹田市第3次環境基本計画（骨子案及び計画素案）について、将来人としての視点から、意見及び議論をするものです。

※「COiRE」の前組織である「大阪大学環境イノベーションデザインセンター」と締結



イメージ（出典：大阪大学大学院工学研究科付属オープンイノベーション教育センター）

現代人が考えたものだけでなく、将来人が考えた新たな視点のものについて、計画に取り入れるための実験的な試み

ワークショップの中で、本計画への評価を行う。また、新たな盛り込むべき意見が出た際には計画に盛り込む予定

2 ワークショップ概要

(1) 参加者

市民：ホームページ及び市報等による公募 25名

行政職員：環境部及び水道部で構成される若手職員 4名

（※環境部及び水道部：フューチャー・デザインのワークショップ実施実績あり）

(2) グループ分け【1グループ4～5人で討議】

エネルギーについて討議…2グループ

資源循環について討議…2グループ

重点戦略（分野横断的戦略）について討議…2グループ（主に“はぐくむ”について）

※重点戦略の1グループについては若手行政職員で構成

(3) 日にち及び討議内容

開催日時	内容
平成31年3月31日(土)	骨子案について現世代として意見及び議論
平成31年4月13日(土)	骨子案について仮想将来世代として意見及び議論
令和元年6月23日(日)	計画素案について仮想将来世代として意見及び議論
令和元年8月31日(土)	計画素案について仮想将来世代として評価及びまとめ

3 「仮想将来世代」の主な意見

グループ	4月13日(将来人としての主な意見)
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの高い目標 子供教育の多様化の検討 市内で一番エネルギーを消費している大学に協力してもらう
資源	<ul style="list-style-type: none"> 周知の工夫(SNSなどの活用) 手軽にいつでも行えるようにする必要がある ゴミ処理の有料化(トップダウンも)
重点	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルが当たり前という意識づくり 個人のごみに対する意識化 環境配慮を行っている事業者に何か良いことを提案

4 現代人と仮想将来世代としての意見の差異

- エネルギーのグループでは、現代人の意見は、ライフスタイルやビジネススタイルの転換等の意識についての優先度が高い傾向にあったが、仮想将来世代の意見は、節エネルギー対策の強化や電力調達施設の拡大及び再生可能エネルギーの導入拡大等の仕組みを重要視するという傾向であった。
- 資源のグループについても、エネルギーと同様、現代人の意見は、ごみの発生抑制やごみにしない社会への啓発及びリサイクル率向上に向けた情報提供等の意識変化についての優先度が高い傾向にあったが、仮想将来世代の意見は、マイバッグの取組維持拡大や食品ロス削減の取組強化等の仕組みについて重要視する傾向であった。
- 重点のグループについては、仮想将来世代においては、学校での環境学習や環境マネジメントシステムの導入に重要視する傾向があり、市民のみで構成されたグループと行政職員のみで構成されたグループでは、傾向について差異がなかった。

5 今後の予定

第3回・第4回のワークショップを踏まえて、「仮想将来世代」としての新たな意見が出た場合、将来目線でいただいた市民意見として、計画に盛り込み、環境審議会にて報告します。